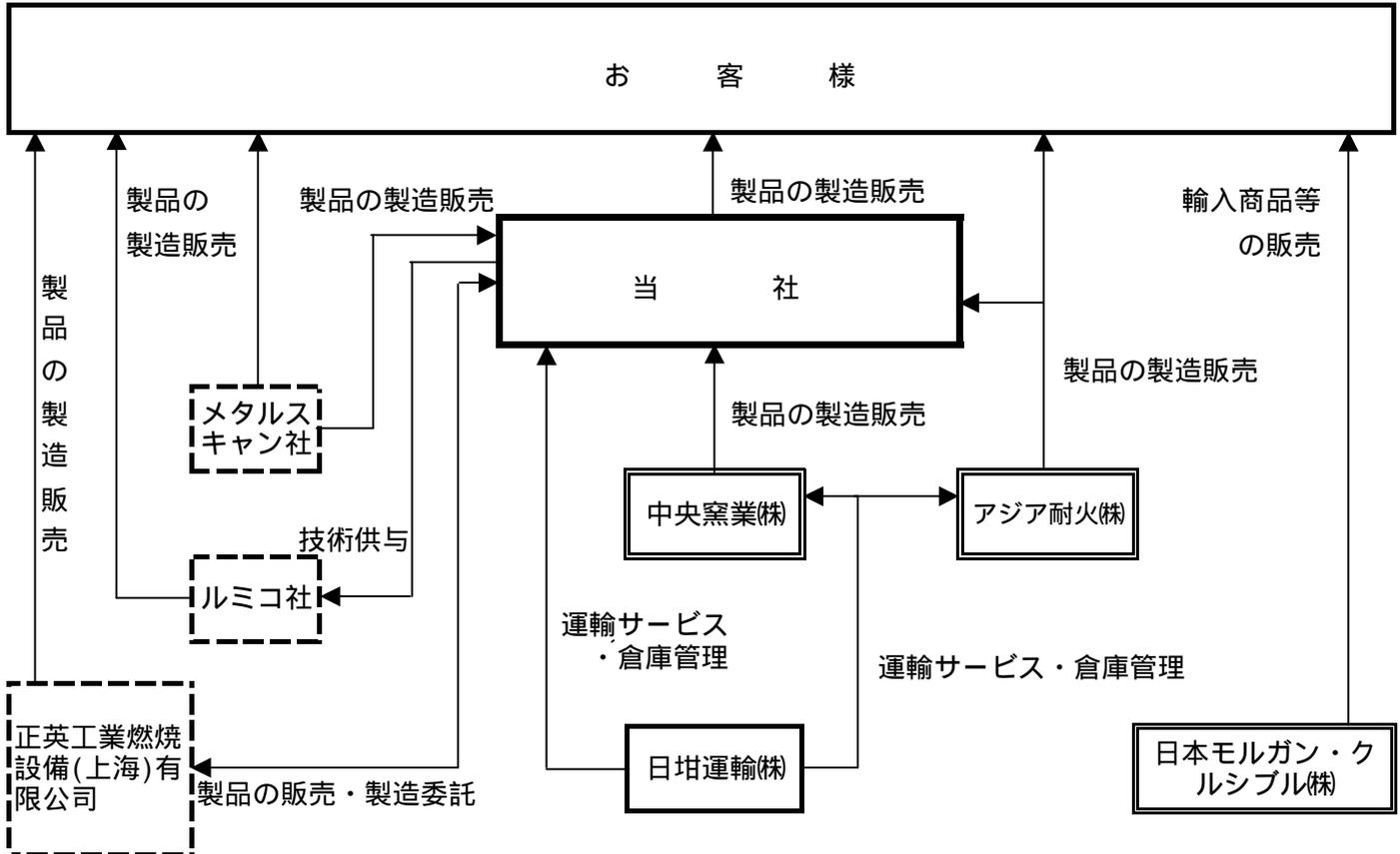


1. 企業集団の状況

当社グループは、当社、子会社4社および関連会社3社により構成され、耐火物等事業（黒鉛ルツボ・定形耐火物、不定形耐火物および電子機器の製造販売、鋳物材料および輸入商品の仕入販売）、エンジニアリング事業（各種工業炉の設計施工および付帯する機器類の販売）、不動産賃貸事業（建物、倉庫賃貸）を行っております。

当該事業における当社および子会社、関連会社の位置づけは次のとおりであります。



子会社関連会社および主な事業の内容は次のとおりであります。

1. 連結子会社

- 中央窯業(株)・・・耐火物の製造販売
- アジア耐火(株)・・・不定形耐火物の製造販売
- 日本モルガン・クルシブル(株)・・・「ルツボ」製品、アルミ「ソフ」他の輸入販売

2. 非連結子会社

- 日埴運輸(株)・・・貨物運送事業および倉庫管理事業

3. 関連会社

- ルミコ社(ドイツ)・・・不定形耐火物の製造販売
- 正英工業燃焼設備(上海)有限公司・・・燃焼設備機器の製造販売
- メタルスキャン社(英国)・・・金属分析器等電子機器の製造販売

2. 経営方針

a. 会社の経営の基本方針

当社グループは経営理念としての『いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指す』を目標とし、『仕事に挑戦、顧客に満足、社会に貢献』を社是として、122年の歴史と経験に基づき、関係会社と密接な連携を図りながら確かな物づくりを可能とする会社経営を目指しております。

b. 会社の利益配分に関する基本方針

当社グループの配当政策は、業績の状況、配当性向、企業体質強化のための内部留保などを総合的に判断し、業績に応じた適正な利益配分を継続的に行うことを基本方針としております。

当面は配当性向30%、最低1株5円を目指します。

なお、平成18年5月1日に施行された会社法の施行後の当社の配当方針に関しましては、従来通りの中間期末日、期末日を基準とした年2回の配当を変更しない予定です。

c. 目標とする経営指標

当社グループ役員一同は、日本ルツボ(株)を核として、定形耐火物中心の中央窯業(株)、不定形耐火物中心のアジア耐火(株)、輸入品中心の日本モルガン・クルシブル(株)などグループ間の有機的連携を強く、積極的な売上増強、総コスト削減を徹底させ、平成22年3月期に連結売上高110億円、経常利益10億円を目指します。

d. 中長期的な会社の経営戦略

今後の当社グループの関連業界の見通しは、好調な民間設備投資により生産高は増加基調が続くものと予想されますが、耐火物業界は、原材料価格の高騰などにより、厳しい状況で推移するものと考えられます。このような状況に強力に対処するため、全社の購買活動を一元管理する調達部を昨年立ち上げ、現在も続いており、今後も続くと考えられる原材料および副資材の高騰に対応してまいります。

更に、今後拡大していくと予想される原子力発電所用高性能特殊ルツボの、高レベルな性能要求に応えるための品質向上をはじめ、順調に育っているルツボ式連続溶解保持炉(メルキーパー)を中心とする溶解炉関連市場への拡販や、最近急速に数字を伸ばしつつある、新用途のルツボ開発を強力で推進してまいります。

グループ戦略としては、3年前設立した日本モルガン・クルシブル(株)、一昨年10月に出資をした正英工業燃焼設備(上海)有限公司、昨年契約を締結したタイ国の燃焼機器メーカーへの出資をはじめとし、国内外のパートナーと緊密な連携を取り、グループとして経営基盤の拡充を図ってまいります。

e. 会社の対処すべき課題

次期は以下の項目を重点的な課題としてまいります。

- 1) 日本ルツボの主力製品である黒鉛ルツボの性能強化を徹底します。
- 2) 原子力発電所用特殊ルツボの品質安定をはじめとし、全ての製品の品質安定に努力します。
- 3) プリシェイブ製品の性能安定と、豊田工場、中央窯業(株)の連携を強化します。
- 4) 財務報告に係る内部統制の評価および監査の基準等に関する指針が確定したため、プロジェクト体制を強化し、内部統制システム構築に遺漏がないようにします。
- 5) 新用途特殊ルツボの出荷および生産が急増しているため、在庫切れ、生産切れを起こさないよう営業技術一丸となって対応します。